

えんちょう通信

No. 3 1

令和2年11月6日

福島市立清水幼稚園

発行者 佐藤一男

知らない世界、見たことのない世界を見よう



先週10月30日(金)、50名全員で“いい電”に乗って、福島県立図書館へ行きました。

図書館では職員の方に絵本を読んでもらったり、館内を案内してもらったりしました。開架書庫では子どもたちの背丈の倍以上もある本棚にびっしりと本が並んでいるのを見て、子どもたちは目を丸くしていました。

引率には、10名もの保護者の方が協力してくださいました。安心して子どもたちを電車に乗せることができました。ありがとうございました。

一緒に行ってくださった保護者の方の感想を紹介します。

○電車を待つときや電車に乗っているときも、少し興奮している様子でした。ワクワク感が止まらなかったのでしょうか。帰り道、紅葉の時季なので、イチョウの葉を拾う子がいたり、「きれいだねー。」と言ったりしている子もいました。子どもたちと共に貴重な時間を体験できたこと、とてもうれしく感じました。

○電車に乗ったとき、「なんだか目が回る。」と言った子がいました。電車に揺られる感覚を表現していて、印象的でした。

○電車での過ごし方は、全然騒がないし、席をゆずっていただいた方に、ちゃんと「ありがとうございました。」とお礼を言っていて、とても偉かったです。本の読み聞かせのとき、図書館の職員の方に本を読んでもらったのですが、その内容に「あっ!!」と驚く姿など、素直な反応がとても可愛らしかったです。

「新しいことを知りたくてしょうがない」という知的好奇心が子どもの「生きる力」を育てていきます。

そしてその知的好奇心は、まだ見たことのない世界、まだ知らない世界を見ることでグングン育つと言われていきます。(『こんなカンタンなことでも子どもの可能性はグングン伸びる!』2019 瀧靖之)

これからも感染症対策をきちんとし、子どもたちに様々な経験をさせてやりたいと考えています。

